

～ みんなの地球のためにチャレンジ！～

令和8年度カーボンニュートラル やまがた県民運動推進大会



令和7年度カーボンニュートラルポスターコンテスト 中学生の部 グランプリ作品
山形市立第六中学校2年 木川 莉緒さん（所属・学年は受賞当時）

日時 令和8年6月4日（木）午後2時～午後4時30分
場所 ホテルメトロポリタン山形 4階「霞城」

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議



< 目 次 >

挨拶	1
プログラム	2
「みんなの ^{あす} 地球のためにチャレンジ！ カーボンニュートラルやまがた県民運動」推進宣言	3
「みんなの ^{あす} 地球のためにチャレンジ！ カーボンニュートラルやまがた県民運動」について	4
記念講演	11
カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議設置要綱	12
カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議構成団体名簿	13

挨拶



本日は、御多忙のところ「令和8年度カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会」に御出席いただき、誠にありがとうございます。

皆様には、日頃より本県の地球温暖化対策について、多大なる御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、地球温暖化による気候変動の影響と考えられる異常気象や、これに伴う自然災害が頻発・激甚化するなど、地球温暖化は私たちの生活に大きな影響を及ぼしており、その対策は、まさに待ったなしの状況にあります。

こうした中、県では、政府に先駆けて令和2年8月に、2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた^{ニ-ゼロゴ-ゼロ}2050」を宣言し、令和4年5月には、皆様と一緒に脱炭素アクションに取り組む「カーボンニュートラルやまがた県民運動」を開始しました。

さらに、本県の脱炭素社会づくりの方向性を示す「山形県脱炭素社会づくり条例」、愛称「さくらんぼ未来^{あす}の地球を守る条例」を令和5年4月に制定し、県民の皆様の健康で文化的な生活の確保に寄与する取組みを推進してまいりました。

加えて、本年3月には、県民・事業者の皆様へ脱炭素アクションを「自分ごと」として捉えてもらい、脱炭素に向けて一層主体的に取り組んでいただけるよう「カーボンニュートラルやまがたアクションプラン」を改定し、県民総ぐるみの県民運動を引き続き着実に展開していくこととしております。

かけがえのないこのふるさと山形県の、健全で恵み豊かな環境を守り、育て、将来の世代に継承していくためには、県や市町村、県民、事業者の皆様のご協力を結集する必要があります。子ども達の未来のため、地球のため、そして山形県のためにも、2050年までのカーボンニュートラルの実現にともに取り組んでまいりましょう。

結びに、本日の大会を契機として、カーボンニュートラルやまがた県民運動の一層の充実・強化が図られますとともに、御参会の皆様のご益々の御健勝と御多幸、御活躍を祈念申し上げ、挨拶といたします。

令和8年6月4日

山形県知事 吉村 美栄子

プログラム

【午後2時～午後4時30分】

1 開 会

2 挨拶

3 来賓祝辞

4 施策説明 「みんなの地球のためにチャレンジ！
カーボンニュートラルやまがた県民運動」について

5 取組発表 山形県立置賜農業高等学校アップサイクルチーム

6 表彰 山形県環境保全推進賞

----- 《 休 憩 》 -----

7 記念講演

演 題 「生活者が自ら選びたくなる
これからのカーボンニュートラルの取扱説明書」

講 師 Earth hacks 株式会社
代表取締役社長 CEO 関根 澄人氏

8 閉 会

あす
みんなの地球のためにチャレンジ!
カーボンニュートラルやまがた県民運動推進宣言

私たちのふるさと山形県は、数多くの秀麗な山々、母なる最上川や日本海、ブナの天然林をはじめとする豊かな緑、清らかな水やきれいな空気など、美しく豊かな自然に恵まれています。

一方、近年、地球温暖化による気候変動は、人々に深刻な影響を及ぼし、洪水や干ばつが世界各地を襲い、日本各地でも豪雨や土砂災害が頻発・激甚化し、甚大な被害が出ています。

私たちが暮らす、この山形県も例外ではありません。

地球温暖化は、人間の活動がその原因とされています。温室効果ガスの排出量をできる限り削減したうえで、森林が吸収する量と均衡させ、実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現が求められています。

私たちが暮らす、「豊かで美しい山形県」を未来に引き継いでいくために、私たちは、今、行動しなければなりません。カーボンニュートラルへの課題は多岐に渡り、その多さ、複雑さゆえに人ごとになりがちですが、自分ごととして多くの人が行動を起こせば大きな力になります。

私たち高校生は、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、環境問題を学び、自分ごととして捉え、様々なアクションにチャレンジし、その輪を周りの人にも広げていきます。

私たち若者は、時代の担い手としての自覚と責任感を持ち、果敢な行動力で自らが先頭に立ち、カーボンニュートラルへの取組みは、我慢や負担ではなく、質の高い暮らしにつながるものと意識を変え、カーボンニュートラルアクションに積極的に取り組むとともに、学校・家庭・地域のかけはしとなり、カーボンニュートラルの実現を目指します。

私たち事業者は、経済と環境の両立の理念に立ち、県内企業が協力しながら、企業活動のあらゆる分野にカーボンニュートラルの考えを取り込み、企業・事業者の側から地球環境を創造し、新たな環境関連の事業化を図るなどにより、「グリーン成長」を実現します。

私たち行政は、気候変動に立ち向かうため、温室効果ガスの排出削減に努めるとともに、住民サービスやインフラの整備などに脱炭素の視点を取り入れ、気候変動対策に関する緩和策と適応策に総合的に取り組み、「ゼロカーボンやまがた 2050」の実現を図ります。

私たちは、みんなの明日のため、地球のため、相互に連携・協働しながら、総力を結集し、一丸となって「ゼロカーボンやまがた 2050」の実現に向け取り組むことを、ここに宣言します。

令和4年5月31日

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議

みんなの地球のためにチャレンジ! ~「やまがた」発 脱炭素アクション~ **物価高騰**の今だからこそ、**お財布にも優しい脱炭素型ライフスタイルへ!**

1 はじめに ~地球温暖化とカーボンニュートラル~

(1) **カーボンニュートラルとは**
 大気中に排出されるCO₂等の温室効果ガスの量から森林等が吸収するCO₂等の温室効果ガスの量を差し引いて、全体を実質ゼロにすることです。

(2) **なぜカーボンニュートラルが必要?**
 近年、集中豪雨など**気象災害の頻発・激甚化**夏の猛暑による**熱中症**リスクの増加

地球温暖化がその一因
 温室効果ガス排出量の増加を抑え、「豊かで美しい山形県」を未来に引き継いでいくために ⇒ 2050年までにカーボンニュートラルの実現が必要!

脱炭素アクションは、環境だけでなく健康やお財布にも優しい行動
 よりスマートで、質の高い暮らしにつなげていくために
 ⇒ 今すぐにも、脱炭素アクションを実践してみましょう!

山形県でも影響が...
 令和6年7月発表で記録した最上川

山形県消費者物価指数(エネルギー)の推移 (R2=100) (出典:山形県)

(3) **山形県のカーボンニュートラル推進**
 令和2年8月 知事が「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言 **START**
基本理念 山形県脱炭素社会づくり条例 (愛称:さくらんぼ果実の地球(あず)を皆の条例)

PLAN 基本計画 第4次山形県環境計画
ACTION 行動計画 **カーボンニュートラルやまがたアクションプラン**
 推進体制 **カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議**

2 アクションプランの基本的な考え方等

(1) **策定の趣旨**
 持続的発展が可能な豊かで美しい山形県を目指して、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、県民、事業者等が自主的かつ積極的に関わり合いながら取り組むべき脱炭素アクションを明示し、それぞれの行動に結び付けるものです。

(2) **対象期間**
 令和8年度~令和12年度(5年間)

(3) **基本的な考え方**
 ・あらゆる分野について脱炭素型のライフスタイルへの転換を促し、浸透させていく
 ・当面は既存手法・技術を徹底活用しつつ、並行して新技術の導入も引き続き推進
 ・環境と成長の好循環を図り、地域の課題解決にもつなげていく

(4) **プランのスキーム(取組みの柱とアクション主体)、アクションの方向性**

徹底した省エネの推進	家庭(県民)
再生可能エネルギーの導入拡大	産業・事業(事業者)
その他のアクション	公共分野(行政)

かえる : 意識を変える、道具を換える、電気を替える、行動を変える
つくる : エネルギーを創る、地域活力を作る、脱炭素アクションを
かかわる : 自分ごととして積極的に参加する、今、始めましょう

3 カーボンニュートラルやまがた「4つのキーアクション」と推進月間

数ある脱炭素アクションの中から、効果や波及性、取り組みやすさなどの観点で、特に取り組んでいただきたい4つのアクションを厳選しました。みんなでチャレンジしてみましょう!

◆ **カーボンニュートラルやまがた「4つのキーアクション」**

★ **CO₂の見える化** ~CO₂排出量やエネルギー費用の見える化は、アクションのはじめの第一歩~
 → まずは県民向けの見える化するツールの活用や、省エネ診断の活用を通して、CO₂排出量やエネルギー費用を測定し、次の脱炭素アクションへつなげましょう。

★ **エコドライブの実践・エコカーの導入** ~ふんわりアクセルや、エコカーへの乗換えでさらにお得に~
 → 車を運転する際はエコドライブを当たり前。さらに、環境にもお財布にも優しい電気自動車などのエコカー(次世代自動車)への買換えも検討しましょう。

★ **建物の断熱化・機器の省エネ化** ~高気密・高断熱化や機器更新で、光熱費を抑えつつ快適に~
 → リフォームや部分改修などで建物の断熱性能を高めるとともに、省エネ家電への買換えや高効率設備への更新を進め、光熱費を抑えつつ快適な暮らし・職場環境を実現しましょう。

★ **再エネ設備導入・再エネ由来電力への切替え** ~再エネで未来を明るく~
 → CO₂排出削減に大きく貢献する再エネ設備導入を進めましょう。また、再エネ由来電力への切替えは、企業価値や魅力の向上にもつながります。

◆ **6月は「カーボンニュートラルやまがた推進月間」**
 6月はさくらんぼをはじめ、山形の恵みがぐんぐん成長する時期。
 この実り豊かな山形県を将来世代に引き継いでいくため、一人ひとりが「自分ごと」として振り返って考える月として、6月を推進月間に位置付けます。

→ 具体的な脱炭素アクションは、別紙へ

4 推進体制と数値目標

(1) **推進体制**
 県では、令和4年5月、県、市町村、消費者団体、経済・産業界、農業界、交通・運輸業界、電力業界等の代表及び報道機関、教育機関等170を超える構成団体からなる「**カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議**」を設立しました。
 この推進会議を母体に、県民総ぐるみの県民運動を展開します。

(2) **数値目標** (第4次山形県環境計画と共通の数値目標)

項目	直近値 (2024(令和6)年)	目標値 (2030(令和12)年)
やまがた省エネ健康住宅の年間新築戸数	259戸/年	360戸/年
環境・マネジメントシステム等に基づく取組みを行っている事業所	290事業所	800事業所
全登録車数に占める次世代自動車普及率	32.3%[152,252台]	50%[243,000台]
再造林面積	153ha/年	200ha/年
県内電力総需要量に対する県内で発電された再生可能エネルギーの割合	34.8%	43.4%

令和7年度カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会

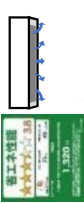
家庭でのアクション

★はキーアクション関連

山形県で排出されるCO₂のうち、家庭部門からの排出量は2割を超えており、その割合は全国に比べて高くなっています。2050年は遠い将来ではありませんが、物価が高くなり、身の回りを点検し、家庭での脱炭素アクションにチャレンジしましょう。

徹底した省エネの推進

- (1) 家電・給湯での省エネ**
 - ★省エネ性能の高い照明や家電製品に買い換える ・家電を効率よく使う
 - ★給湯機をヒートポンプ式(エコキュート)に
- (2) 建物での省エネ**
 - ★高気密・高断熱な住宅を建てて健康で快適に暮らす
 - ★リフォームでサッシ交換や内窓を追加し、窓の断熱性能を高める
- (3) 乗り物での省エネ**
 - ・まずは自家用車以外の交通手段を考えてみる
 - ★自家用車に乗るときはエコドライブ ★自家用車を次世代自動車に
- (4) 行動での省エネ**
 - ★まずはCO₂排出量の「見える化」から
 - ・「つばなし」をやめる
 - ・まとめる(洗濯宅配…)
 - ・なるべくごみを出さない ・地元産の旬の食材、地元企業の製品、県産材を選ぶ



買い換え時に検討

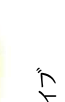


あなたの排出しているCO₂は何トン? 調べてみよう!

デカボ MISO7

再生可能エネルギーの導入拡大

- (1) 再エネ発電設備の導入**
 - ★太陽光発電設備等を設置する ・自家消費して電気の購入量を減らす
- (2) 再エネ蓄電設備の導入**
 - ・日中発電した電気を貯めて夜間に使用
- (3) 再エネ熱の利用**
 - ★木質バイオマスで暖房、地中熱で融雪
- (4) 使用する電力の切替え**
 - ★再エネ電力へ切り替える ・EV+再エネ電力でゼロカーボン・ドライブ



その他のアクション

- (1) 脱炭素への意識転換**
 - ・意識とライフスタイルを脱炭素へ転換 ・環境に配慮したエンシカル消費の実践
- (2) 環境学習・環境イベントへの参加**
 - ・子どもが学んできたことを家族と一緒に考える
 - ・若者向けの環境学習・イベントに積極的に参加する
- (3) 木や森との関わり**
 - ・豊かな森林環境に触れ、保全活動に積極的に参加する ・日常生活で木製品を活用
 - ・県産木材で家を建てる
- (4) ブルーカーボン生態系の保全活動への参加**



産業・事業でのアクション

・GXへの対応が必須となっている今、サプライチェーン全体で脱炭素を目指すという企業の動きが加速しています。エネルギー価格高騰の中、時流に乗り遅れず、産業・事業での脱炭素アクションを進め、グリーン成長を実現しましょう。

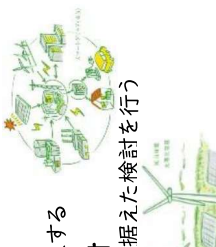
徹底した省エネの推進

- (1) 事業所自らの省エネ・脱炭素経営の推進**
 - ★省エネ診断でエネルギー使用を「見える化」する ・リモートワークの環境整備を進める
 - ★照明や工作機械等を省エネ設備へ更新する ★事業所等の建物のZEB化を目指す
 - ★業務用車両を次世代自動車に更新する ・環境マネジメントシステムを活用する
- (2) 事業による省エネ**
 - ・提供する製品やサービスで社会の省エネを図る
- (3) 農林水産業での省エネ**
 - ・化学肥料、化学農薬に依存しすぎない ・デジタル技術を活用してスマート化



再生可能エネルギーの導入拡大

- (1) 大規模な再エネ発電設備の展開**
 - ・洋上風力発電事業に様々な形で参入する ★再エネ発電・蓄電設備を導入する
- (3) 再エネ由来電力への切替え**
 - ・再エネを地産地消する
- (5) 農林水産業での再エネ導入**
 - ・加温施設で再エネ熱、再エネ電力を利用する



その他のアクション

- (1) 脱炭素への意識転換、技術開発等**
 - ・経営・投資活動での意識転換を図る
- (2) 森林吸収源対策**
 - ・建築物の木造化・木質化を進める
- (4) 農林水産業での排出削減**
 - ・J-クレジット制度を活用してオフセットする
 - ・J-クレジット活用して秋耕等を行うことでメタン排出を抑える



県の施策(産業・事業でのアクション推進)(主なもの)

- ★脱炭素経営セミナー等の開催
- ★高効率設備への更新、脱炭素化に向けた設備投資等への支援
- 循環経済への移行に向けた支援
- ★事業所等への再エネ設備導入支援
- 地域主体の再エネ導入の支援
- 新エネルギー関連ビジネスへの参入促進
- 空港・道路の脱炭素化に向けた検討
- 吸収源対策としてのやまがた森林ノミックスの着実な推進等

公共分野でのアクション

・自治体においても、一事業者としてCO₂排出削減に努めることはもちろん、提供するインフラやサービスについても脱炭素の視点を取り入れ、住民、事業者、関係機関、団体等と連携、協働しながら「地域の脱炭素化」に取り組んでいきたいと思います。

市町村における地域脱炭素の取組み

○地方公共団体実行計画(区域施策編)の策定・見直しにより、カーボンニュートラルと地域課題の解決を同時に目指す「地域脱炭素」に戦略的に取り組む

山形県のアクション(主なもの)

- 資源・エネルギー利用の削減とリサイクル促進
- 用紙類の使用量の削減
- 環境に配慮した購入・契約の推進(★次世代自動車への更新、再エネ電力への切替え等)
- 公共建築物の建築・管理等に当たった環境保全への配慮

県庁舎はCO₂フリー電力

県民運動の主な事業

かえる

やまがた省エネ健康住宅(※)・再エネ設備パッケージ補助金(4月～1月)

年間のエネルギー使用量の収支をゼロとする住宅を新築するとともに、太陽光発電設備等を設置する場合は、その経費の一部を補助

○補助対象：やまがた省エネ健康住宅と併せて太陽光発電設備等を設置する新築住宅等

○補助金額：最大200.2万円

※ やまがた省エネ健康住宅
 最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅



新規

山形県住宅用太陽光発電設備(自家消費型)導入事業費補助金(4月～1月)

既存のやまがた省エネ健康住宅等へ太陽光発電設備を導入する場合、その経費の一部を補助

○補助対象：既存のやまがた省エネ健康住宅等へ設置する太陽光発電設備

○補助金額：最大63万円



省エネ住宅普及啓発セミナー(7月～2月)

省エネ住宅のメリットを学ぶ県民向けセミナーと、省エネ住宅を建築する上で必要となる施工方法等を学ぶ事業者向け研修会を開催

事業者向け研修会➔



金融機関と連携した県内企業の脱炭素経営促進(7月～1月)

- ・脱炭素経営の必要性やメリットを伝えるセミナーを開催
- ・自社の脱炭素経営に向けた取り組みを検討するための経営塾を金融機関との連携により開催



省エネ家電買換えキャンペーンの実施(6月～12月)

家庭で使用している家電製品の買換えのため、キャンペーン期間中に対象店舗で対象製品を購入した方に賞品を交付



拡充

県民のCO2排出量の見える化等による脱炭素アクションの推進(通年)

- ・CO2排出量可視化ツール「デカボMYスコア」を活用した県内イベント等での普及啓発を実施
- ・脱炭素型ライフスタイルへの行動変容を促すための県民向けツアーやSNS等を用いたキャンペーンを実施



水素エネルギーの利活用に関する実証事業(6月～)

水素関連技術を用いた実証事業を支援し、水素の利活用を推進



県民運動の主な事業

つくる

やまがた省エネ健康住宅(※)・再エネ設備パッケージ補助金(4月～1月) 【再掲】

年間のエネルギー使用量の収支をゼロとする住宅を新築するともに、太陽光発電設備等を設置する場合、その経費の一部を補助

○補助対象：やまがた省エネ健康住宅と併せて太陽光発電設備等を設置する新築住宅等

○補助金額：最大200.2万円

⚡ ※ やまがた省エネ健康住宅
最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅



やまがた未来くるエネルギー補助金(4月～)

家庭や事業所が再生可能エネルギー等設備を導入する場合、その経費の一部を補助

○補助対象設備：蓄電池設備、木質バイオマス燃焼機器、地中熱利用空調装置・融雪装置



新規

山形県住宅用太陽光発電設備(自家消費型)導入事業費補助金(4月～1月) 【再掲】

既存のやまがた省エネ健康住宅等へ太陽光発電設備を導入する場合、その経費の一部を補助

○補助対象：既存のやまがた省エネ健康住宅等へ設置する太陽光発電設備

○補助金額：最大63万円



カーボンニュートラル大使活動活性化支援補助金(6月～)

カーボンニュートラル大使(※)が実施するカーボンニュートラルにつながる活動に対し補助金(上限5万円/団体)を交付

※ カーボンニュートラル大使
カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを実践している
県内小・中・高校生のグループ
(令和7年度：7団体)



県民運動の主な事業

かかわる

小学生向け学習教材の配布(7月～)

子供の頃から地球温暖化の理解を深め、「自分ごと」として自ら行動できる環境人材の育成のため、脱炭素の取り組みをわかりやすく解説したガイドブックを作成・配布



カーボンニュートラル標語・ポスターコンテスト(6月～9月)

「カーボンニュートラル実現への思い」を標語やポスターで表現した作品を県民から募集

《令和7年度グランプリ作品》

◆ 標語

小学生の部	歩こうよ 少しの時間で 変わる未来
中学生の部	暑いよね～ 言ってるだけじゃ 終わらない
一般の部	省エネは 無理なく無駄なく 根気よく

◆ ポスター



若者向けSDGsワークショップ等の開催(6月～)

県内の中学生以上の生徒、学生等を対象としたワークショップ及び活動発表会を開催



学生環境ボランティアによる普及啓発(6月～)

県内の大学生等を学生環境ボランティア(やまカボ・サポーター)として登録し、イベントへのブース出展や出前講座を実施



やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会(7月～)

先進的・効果的な脱炭素施策に取り組む市町村等と連携し、県内における横展開を図るための、足掛かりとなる勉強会を開催



記 念 講 演

演 題

「生活者が自ら選びたくなる
これからのカーボンニュートラルの
取扱説明書」



講 師

せき ね すみ ひと
関根 澄人 氏

Earth hacks 株式会社 代表取締役社長 CEO

【講師略歴】

2009年博報堂に入社。初任中部支社配属。

入社後約10年、様々な企業ブランドコミュニケーションを担当。

2018年に博報堂従業員組合中央執行委員長。

2020年4月から三井物産に3年間出向。

2022年にEarth hacksを博報堂&三井物産の共同企画で立上げ。

2023年にEarth hacks株式会社を設立。

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議 設置要綱

(目的)

第1条 県民一人ひとりが環境問題を「自分ごと」として捉え、身近なところから、できることから温室効果ガスの削減と吸収源対策に主体的かつ積極的に取り組む「カーボンニュートラルやまがた県民運動」(以下「県民運動」という。)を推進することにより、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」及び「第4次山形県環境計画」に掲げる「持続的発展が可能な豊かで美しい山形県」の実現に寄与することを目的として、「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」(以下「推進会議」という。)を設置する。

(事業)

第2条 推進会議は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 県民運動の推進に関すること
- (2) 県民運動の広報に関すること
- (3) その他、目的達成のために必要なこと

(組織)

第3条 推進会議は、本会要綱の趣旨に賛同する団体(以下「構成団体」という。)の代表者で構成し、前条に掲げる事業とともに、それぞれの団体として、カーボンニュートラル達成に向け自らの取組みを積極的に行うものとする。

(会長等)

第4条 推進会議に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は山形県知事とし、副会長は会長が指名する。
- 3 会長は、会務を総理し、推進会議を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(県民運動推進大会)

第5条 県民運動推進大会は、必要に応じ開催する。

(事務局)

第6条 推進会議の事務局は、山形県環境エネルギー部環境企画課に置く。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

附則

- 1 この要綱は、令和4年5月11日から施行する。

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議

構成団体名簿

◎会 長：山形県知事 吉村 美栄子 氏

◎副 会 長：山形県環境保全協議会会長 桂木 宣均 氏(日本地下水開発株式会社 代表取締役会長)
市長会長 佐藤 孝弘 氏(山形市長)、町村会長 阿部 誠 氏(三川町長)
公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会長 安達 史倫 氏

【構成団体】

消費・婦人・青年

- ・山形県生活協同組合連合会
- ・山形県婦人連盟
- ・山形市消費者連合会
- ・公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会

産業・経済・労働

- ・山形県環境保全協議会
- ・山形県工業会
- ・山形経済同友会
- ・公益財団法人やまがた産業支援機構
- ・一般社団法人山形県銀行協会
- ・一般社団法人山形県経営者協会
- ・一般社団法人山形県産業資源循環協会
- ・山形県商工会議所連合会
- ・山形県商工会連合会
- ・山形県商店街振興組合連合会
- ・山形県電気工事工業組合
- ・東北電気保安協会山形事業本部
- ・山形県電機商業組合
- ・山形県中小企業団体中央会
- ・山形県社交飲食業生活衛生同業組合
- ・山形県生活衛生同業組合団体協議会
- ・山形県理容生活衛生同業組合
- ・山形県旅館ホテル生活衛生同業組合
- ・山形県遊技業協同組合
- ・日本労働組合総連合会山形県連合会
- ・山形県観光物産協会

運輸・交通・通信

- ・公益社団法人山形県トラック協会
- ・一般社団法人山形県ハイヤー協会
- ・一般社団法人山形県バス協会
- ・東日本旅客鉄道株式会社山形支店
- ・山形鉄道株式会社
- ・一般社団法人日本自動車販売協会連合会山形県支部
- ・一般社団法人日本自動車連盟山形支部
- ・一般社団法人山形県指定自動車教習所協会
- ・山形県自転車軽自動車商協同組合
- ・一般社団法人山形県安全運転管理者協会
- ・山形県サイクリング協会
- ・東日本電信電話株式会社山形支店

建築・建設

- ・一般社団法人山形県建設業協会
- ・一般社団法人山形県建築協会
- ・一般社団法人山形県建築士会
- ・一般社団法人山形県建築士事務所協会
- ・山形県サッシ・ガラス協同組合
- ・公益社団法人全日本不動産協会山形県本部
- ・公益社団法人山形県宅地建物取引業協会

電力・燃油

- ・東北電力株式会社山形支店
- ・一般社団法人山形県LPGガス協会
- ・山形県コミュニティーガス協会
- ・山形県石油商業組合・山形県石油協同組合
- ・山形県都市ガス協会
- ・株式会社やまがた新電力
- ・おきたま新電力株式会社
- ・酒田港風力発電事業者協議会
- ・やまがた自然エネルギーネットワーク

農林

- ・山形県農業協同組合中央会
- ・山形県森林組合連合会
- ・公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構

教育・学校関係

- ・山形県PTA連合会
- ・山形県高等学校PTA連合会
- ・山形県高等学校長会
- ・山形県中学校長会
- ・山形県連合小学校長会
- ・国立大学法人 山形大学
- ・国立大学法人 山形大学カーボンニュートラル研究拠点
- ・公立大学法人 山形県立保健医療大学
- ・山形県公立大学法人(県立米沢栄養大学・県立米沢女子短期大学)
- ・学校法人東北芸術工科大学 東北芸術工科大学
- ・学校法人東北公益文科大学 東北公益文科大学
- ・学校法人富澤学園 東北文教大学
- ・独立行政法人国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校
- ・一般社団法人山形県歯科医師会立 山形歯科専門学校
- ・公益社団法人 山形県私立学校総連合会
- ・学校法人明正学園 山形明正高等学校
- ・学校法人山本学園 惺山高等学校
- ・学校法人富澤学園 東北文教大学山形城北高等学校
- ・学校法人日本大学 日本大学山形高等学校
- ・学校法人東海山形学園 東海大学山形高等学校
- ・学校法人羽黒学園 羽黒高等学校
- ・学校法人山形電波学園 創学館高等学校
- ・学校法人新庄学園 新庄東高等学校
- ・学校法人稚野学園 米沢中央高等学校
- ・学校法人天真林昌学園 酒田南高等学校
- ・学校法人天真林昌学園 和順館高等学校
- ・学校法人九里学園 九里学園高等学校
- ・学校法人山形学院 山形学院高等学校
- ・学校法人齋藤学園 鶴岡東高等学校

マスコミ

- ・朝日新聞山形総局
- ・読売新聞東京本社山形支局
- ・毎日新聞山形支局
- ・産経新聞社山形支局
- ・河北新報山形総局
- ・時事通信社山形支局
- ・株式会社山形新聞社
- ・株式会社荘内日報社
- ・日本放送協会山形放送局
- ・山形放送株式会社
- ・株式会社山形テレビ
- ・株式会社テレビユー山形
- ・株式会社さくらんぼテレビジョン
- ・株式会社エフエム山形
- ・株式会社ダイバーシティメディア
- ・株式会社ニューメディア

自治体・その他

- ・山形県
- ・市町村(35)、山形県市長会、山形県町村会
- ・山形県地球温暖化防止活動推進センター
- ・各地域温暖化対策地域協議会(34)
- ・各地域エネルギー戦略推進協議会(4)

計178団体

MEMO

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for the main content of the memo.

あす
～みんなの地球のためにチャレンジ！～



カーボンニュートラルやまがた県民運動

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議の取組みのほか、環境に関するさまざまな情報発信を行っています。ぜひ「いいね！」「フォロー」をお願いします！

県環境企画課

「カーボンニュートラルやまがた」

「デカボMYスコア」やデジタル教材、
各種イベント等の情報を掲載！



県環境企画課

「カーボンニュートラル やまがたアクションプラン」

脱炭素アクションへのチャレンジのため、
ぜひご覧ください！



県環境企画課

「つなぐ環境やまがた」

X(旧ツイッター)、Instagram



X



Instagram

県環境企画課

「やまがた環境まなびネット」

学校や家庭、地域等での
環境学習・活動に役立つ情報を掲載！



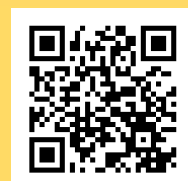
環境ネットやまがた

(山形県地球温暖化防止活動推進センター)

Facebook、Instagram



Facebook



Instagram